

医王病院ニュース

患者さん一人ひとりに寄り添い、心のふれあいを大切に信頼される医療を目指します。



冬号
第64号

令和6年2月1日発行

新年のあいさつ

企画課（医事室）の最近のトピックス

障がい者スポーツの未来に一筋の光 ～「eポッチャ」との出会い～

家族散歩にでかけました

石川県立医王特別支援学校

外来担当表、病院案内図

新年のあいさつ



院長 石田 千穂

2024年（令和6年）が明けました。新年のご挨拶を申し上げる前に、1月1日の能登半島地震により被害にあわれた方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

地震により病院はかなり揺れましたが、入院患者さまの病状や院内設備にはほとんど影響がない状態で診療業務を継続できております。加えて、以前より当院へ通院されていた方や、一旦救急病院へ入院されて病状が安定した方々などの受け入れも行っているところです。

2023年をふりかえりますと、4年つづいた新型コロナウイルス感染症については、感染状態がやや落ち着きをみせ、5月には感染症5類へ移行しました。当院は呼吸器症状をお持ちの方が、それも長期に入院されているという特性上、わたくしどもも慎重に段階的な制限解除を検討していたところであり、その方針は現在も変わりありません。幸い、新型コロナウイルス5類への移行後、院内クラスター発生には至っておらず、これも患者さま、ご家族さまのご協力と、病院スタッフの尽力の賜物と感謝申し上げます。

また、病棟間の医療重症度均てん化対策の一つとして、昨年12月から一部の患者さまに病棟移動をお願いしております。ご協力いただき患者さま・ご家族さまには、重ねて御礼申し上げます。

今年は甲辰（きのえたつ）の年です。東京オリンピックや東海道新幹線開業も甲辰の年で、ちょうど60年になります。今年はパリオリンピック・パラリンピック、北陸新幹線の敦賀への延伸など明るい話題も控えてはいますが、わたくしたちにとってはとても厳しい船出となり、今もまだ先の見通せる状況ではありません。石川県内の他の医療機関同様、可能なかぎり能登地方のバックアップとして、また地域のニーズに応えながら、当院ができることを粛々としてゆきたいと思っておりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。最後となりましたが、2024年のみなさまのご多幸をお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。

企画課（医事室）の最近のトピックス

専門職 釜谷 直史

診療報酬は2年に1度定期的に改定されますが、その他にも臨時で取扱いが変更されることがあります。その内容も含め直近の取り組み状況をお知らせします。

【新型コロナウイルス感染症】

令和2年に初めて日本国内で新型コロナウイルス感染症が確認されてから、関係する変更が数多くありました。直近の令和5年10月以降の取扱いでは、9月まで全額公費支援であったコロナ治療薬について一定の自己負担がかかるようになりました。自己負担の上限額は、医療費の自己負担割合に応じて段階的に定められました。

（1割の方：3,000円、2割の方：6,000円、3割の方：9,000円）

【データ提出加算】

令和4年4月以降、障害者施設等入院基本料を算定する病院もデータ提出加算の届出が必要になり、200床以上の病院は令和5年3月まで届出の猶予期間がありました。当院は令和5年1月からデータ提出加算を算定し、退院患者の診療データ、レセプトデータをDPC調査事務局へ提出しています。

※DPC…病名や治療内容に応じて分類される診断群分類（1572分類）の分類毎に1日当たりの入院費用を定めた新しい医療費の計算方式。当院は出来高方式ですがDPC調査に協力しています。

【電子処方箋の導入】

現在、政府が取り組んでいる医療DXの推進に、国立病院機構グループ医療機関として協力していく立場です。この電子処方箋の推進は、「第5回医療DX令和ビジョン2030」での厚生労働大臣からの強い要請や第2回医療DX推進本部の「推進に関する工程表」で【令和6年度末までに概ね全ての医療機関における電子処方箋の導入】という目標が定まっています。当院も導入を進めるにあたり医師資格証（HPKIカード）取得や電子カルテシステム改修に取り組んでいます。

【マイナ保険証の利用】

当院では、令和4年4月からマイナンバーカードを健康保険証として利用することによるオンライン資格確認が可能となりました。マイナンバーカードをお持ちの方は、受付窓口で保険証を提示いただかなくても、設置のカードリーダーでスムーズに資格確認が出来ることとなりました。

※DX…「Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）」の略称で、デジタル技術によって、ビジネスや社会、生活の形・スタイルを変える（Transformすること（情報処理推進機構DXスクエアより）

※医療DX…保健・医療・介護の各段階（疾病の発症予防、受診、診察・治療・薬剤処方、診断書等の作成、診療報酬の請求、医療介護の連携によるケア、地域医療連携、研究開発など）において発生する情報やデータを、全体最適された基盤を通して、保健・医療や介護関係者の業務やシステム、データ保存の外部化・共通化・標準化を図り、国民自身の予防を促進し、より良質な医療やケアを受けられるように、社会や生活の形を変えることと定義されています（厚生労働省HPより）

障がい者スポーツの未来に一筋の光 ～「eボッチャ」との出会い～

医王ボッチャサークル代表
療育指導室 川邊 祐樹

「以前まではできていたけど、今は車椅子にも長く乗れないし、自分で投球もできないから参加できないんです。」

とある筋ジストロフィー患者の言葉です。彼はスポーツ観戦が大好きで、サッカーや野球、バスケットボールなど様々なスポーツをパソコンで観戦しています。そんな彼も実はスポーツをしています。そう、最近よく耳にするパラリンピック種目でもあるスポーツ「ボッチャ」です。

医王病院では、約6年前にボッチャサークルを立ち上げ、筋ジストロフィーの患者を中心に10名ほどのメンバーで活動しています。コロナ禍前までは、週に1回サークル日を設け、順に2～3名ずつの患者が参加していましたが、コロナ禍になり、他の患者との交流や病棟間での交流活動に制限がかかりました。筋ジストロフィーの患者にとって、この3年はとても大きく、以前できていたことができなくなった方もおられます。

なかなか思うように活動ができず、サークルメンバーのボッチャへの熱量も少しずつ下火になってきたと感じていたそんな時、ある情報が入りました。それは、“自分でボールを押せなくても、スイッチ入力や視線入力でランプ（自分で投球できない方の為の補助具）を操作、投球できる機械を作った企業がある”というものでした。今後の活動の方向性に迷いを感じていた私でしたが、すぐに連絡したところ、当院でも扱っている視線入力による意思伝達装置「miyasuku」を製造している会社でした。

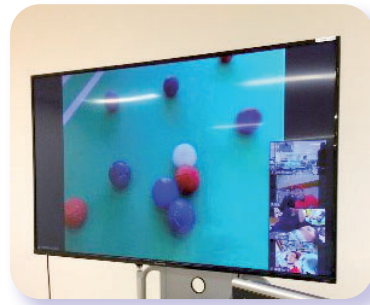
私どもの想いも伝え、また先方の想いもお聴きする中で、是非当院にも「eボッチャ」を取り入れたいとお願いしたところ、2月から始まるというフィールドテストに参加させていただけることになりました。現在はフィールドテストに向けて患者、スタッフともに期待を膨らませています。



そんな中、12月2日にその会社の初の試みとして、ハイブリッドによるeボッチャ大会「miyasukuボッチャ大会」を開催していただきました。実際に大会会場がある広島県とオンラインで繋ぎ、同じくオンラインで参加した方や、現地で実際にプレイする方と対戦をするというもので、当サークルからも、3名で団体メンバーを組

んで参加しました。

オンラインでのポッチャ自体初体験で、はるか遠く広島県にあるランプをパソコン上で操作するという難しい状況ではありましたが、3名ともこれまでのサークル活動の経験を活かし、素晴らしいランプ操作と投球を見せてくれました。



その結果、なんと初の「eポッチャ大会」で8組中2位という好成績を収めることができました。参加した3名も大変満足しておられ、これまでの、“介助者にランプを操作してもらおう”という形とは違い、ランプ操作から投球まで、完全に自分の意思でできる喜びを感じていらっしゃるようでした。

冒頭にも述べたように、パラリンピックの競技にもなっているポッチャではありますが、今回のように機械を使った投球は正式なルールとしては認められていないのが現状です。しかし、たくさんの方がより長期に渡りポッチャを続けるためにも、様々な障がいをお持ちの方がスポーツに触れるためにも、今回の「eポッチャ」のようなテクノロジーの力が必要なのもまた事実であると私は考えます。

「eポッチャ」を正式な競技として認めていただくことは果てしない道のりかもしれませんが、何事にも希望を抱きながら挑戦していくことが大切だと思います。今回出会った一筋の光が、ずっと先の未来も照らし続けてくれるよう心から願いながら、患者支援にまい進していきたいと思います。



Let's GO!!!!!!



～家族散歩にでかけました～



療育指導室 8病棟 サービス管理責任者 藤本 智絵

新型コロナウイルスが5類へと移行しましたが、当院では面会時間の制限がまだ続いており、患者さんのお散歩は職員が行っておりました。しかし、ご家族からは「少しでもいいから、お散歩とかしたいわ」「家族だけの時間を作りたい」など、患者さんと家族が病室以外で過ごす時間の希望が多く聞かれました。



そこで、8病棟では面会時間を利用した家族散歩を計画・



実施しました。面会時間に合わせ、病棟スタッフが患者さんの準備をし、ご家族へバトンタッチ👉

面会時間いっぱいご家族の時間を楽しんでいただきました。

ご家族と久しぶりに病棟から離れてのお散歩となるため人工呼吸器など、注意が必要な方には看護師も付き添いお散歩しました🎵 スタッフもご家族とゆっくりお話をする機会となりました。患者さん、

ご家族ともに久しぶりのお散歩にととても良い表情で帰ってこられました！ご家族も「気持ちよかったわ😊」「久しぶりにたのしかったわ😊」と笑顔でお話してくださいました。



面会制限が続いている中、ご家族、患者さんの想いを実現するために療育指導室が計画・調整をし、医師、看護師は付き添いや様々な管理を行いました。スタッフそれぞれが、ご家族、患者さんの楽しい時間を作るために連携し、ご希望されるご家族のお散歩を実施することができました。

現在も様々な感染症に注意が必要な時期には変わりありませんが、患者さんにご家族の楽しい時間の確保がとても大切であると、改めて気づくことができました。今後も、ご家族、患者さんの想いを実現できるよう努めていきたいと思っております。皆様、いつでもお気軽にお気持ちをお聞かせください😊



< 医王特別支援学校の様子 >

院外学習

10月4日に今年度3回目の院外学習（病棟から学校へ行く行事）がありました。

今回は小学部の児童2名が学校に来て壁画の前で記念写真を撮った後、保健室、事務室、校長室をまわってたくさんの人と交流することができました。



文化祭

医王特別支援学校では、毎年秋に文化祭を行っています。今年の劇は長編魔法使い物語等をモチーフにした映像劇でした。9月から紙芝居でストーリーを学習した後、好きなキャラクターの衣装を着て撮影シーンの演技をがんばりました。当日（10月18日）は、完成した劇の映像を各病室で見て、保護者の方々は会議室でみんなの頑張る様子を見ることができました。また、『いしかわ百万石文化祭2023』の会場ごとに職員が撮影・編集した動画を病室の児童生徒と学校会議室を接続して視聴しました。会場毎に催されたいろいろな作品が見られるよい機会となりました。



本校会議室



小松空港

いしかわ教育ウィーク

11月7日に、医王病院の主任心理療法士である多田淑央氏をお迎えして校内研修会を行いました。「心のケア 学齢期の子どもを中心に」というテーマで、外部の学校関係者等を交えて研修会を行いました。児童生徒の心身の不調が起きた時の関わり方や子どもの心のケアについてお話をいただきました。また、今年度も保護者のみの授業公開となりましたが、新型コロナウイルスが5類に移行になって初の直接対面の授業参観も行うことができました。保護者の皆さんや児童生徒の皆さんの嬉しそうな姿に心が温まるひと時でした。



冬のお楽しみ会

12月に校長先生サンタが児童生徒たちにプレゼントを持ってきてくれました。

恒例の、先生方が歌って踊った『クリスマスクリスマス』の動画を見ながら、みんなで演奏したり、踊ったりしました。お待ちかねのサンタさんからのプレゼントは友だちの手作りクリスマスカードと一緒に渡されました。



医王病院に隣接する医王特別支援学校は、日頃から医王病院のスタッフの方々と連携しながら、病気や障害のある児童生徒の教育に取り組んでいます。子どもたちの教育について行事や日常の授業の様子、自然に囲まれた校舎の様子など、ここでは紹介しきれなかったことがたくさんあります。学校ホームページで紹介しています。是非ご覧ください。

「石川県立医王特別支援学校HP」は、・・・
<http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/iouxs/>
 パソコン、携帯電話等からご覧いただけます。



～ 外来診察のご案内 ～

【診察時間】

午前

診察受付/午前8:40～11:30
診察時間/午前9:00～12:00

午後

(小児科のみ)

診察受付/午後15:00～16:30
診察時間/午後15:00～17:00

(予防接種をご希望の場合は、午前中及び15時～16時に受診してください)

●内科外来担当

	診療科	月	火	水	木	金
午前	一般内科	交代制	田上	交代制	交代制	田上
	脳神経内科(再診)	山口高橋	駒井本崎	石田高橋	駒井本崎	進藤石田
	脳神経内科(初診)	13:00 山口 15:00 高橋			11:00 本崎	11:30 進藤 11:45 石田
	呼吸器内科		田上			田上

●皮膚科

	診療科	月	火	水	木	金
午後	一般	伏田			堀井	

【休診日】土曜・日曜、祝日

●小児科外来担当

	診療科	月	火	水	木	金
午前	一般	中村 (高桑/加藤)	吉田 (大学医師/高桑)	脇坂 (大学医師/吉田)	丸箸 (大学医師/吉田)	大野 (大学医師/吉田)
午後	一般	吉田 (高桑/丸箸)	高桑 (大学医師/加藤)	加藤 (大学医師/吉田)	加藤 (大学医師/高桑)	高桑 (大学医師/丸箸)

●専門外来(要予約)

<小児心身症> 大野・中村

<言語/発達> 中村・脇坂・加藤

<神経/てんかん> 脇坂

<重症心身障害児> 丸箸

<筋ジストロフィー> 大野・脇坂

<肥満> 山田

～ 患者さんの権利と義務 ～

患者さんは誰でも人間としての尊厳を大切にされ、医療を受ける権利を有します。また、医療は患者さんと病院職員が、お互いの信頼関係に基づき共に作り上げていくものです。したがって患者さんには医療に積極的に参加していただく必要があります。

当院はこのような考えに基づき、下記の「患者さんの権利」を尊重して医療を提供いたします。また患者さんは「患者さんの義務」を果たされるようお願い致します。

患者さんの権利

1. 患者さんは良質な医療を公平に受ける権利を有します
2. 患者さんは病気に関する情報や検査・治療についての説明を聞き、自分の受ける医療を選択できます
3. 患者さんは個人情報保護される権利を有します
4. 患者さんはいつでもカルテ開示を求める権利を有します
5. 患者さんはいつでもセカンドオピニオンを求める権利を有します

患者さんの義務

1. 患者さんには病院の諸規則を守る義務があります
2. 患者さんには自ら病気を治そうと努力し、また病気に関し病院職員の指示を守る義務があります
3. 患者さんには他の患者さんの治療や検査、快適な療養生活に支障を与えないように配慮していただく義務があります
4. 患者さんには当院での入院治療が必要でなくなった時には退院頂く義務があります
5. 患者さんには医療費の外、利用契約に基づく一部負担金などを支払う義務があります

医師および医療従事者の権利

医師および医療従事者は、自らの良心や医療倫理に相反することに対して、患者さんからの要求があっても拒否する権利があります

職員募集

詳しくは病院ホームページまたは管理課 庶務班長までお気軽にお問合せ下さい



独立行政法人
国立病院機構 **医王病院**
北陸脳神経筋疾患センター

●交通アクセス

- ・JR金沢駅よりJRバス(深谷元湯行・不動寺行)で30分、医王病院前下車
- ・IR森本駅より徒歩15分・北陸自動車道 森本ICより車で5分・山側環状線より車で5分

〒920-0192 金沢市岩出町二73-1 TEL.076-258-1180 FAX.076-258-6719 <https://iou.hosp.go.jp/>

■発行者 医王病院 ■発行人 石田千穂 ■発行日 令和6年2月1日 ■印刷所 株式会社ハワイ印刷